



報道関係各位

下地島エアポートマネジメント株式会社
三菱地所株式会社

「丸の内シェフズクラブ」とコラボ、宮古諸島の特産品の認知を拡大

～脇屋友詞シェフと「みやこ下地島空港ターミナル開業記念特別メニュー」を共同開発

宮古島市伊良部地区に2019年3月30日（土）に開業した「みやこ下地島空港ターミナル」では、地元食材を使用したメニューを提供するカフェやレストランを設置しているほか、地元の生産者やメーカーから仕入れた商品やお土産の販売を通じて、地元の特産品などの情報を発信してまいります。今回、同ターミナルの所有者である三菱地所のプロジェクト「食育丸の内」※¹の丸の内シェフズクラブ※²とコラボレーションし、みやこ下地島空港ターミナル開業記念特別メニューを共同開発致しました。

「食育丸の内」では、これまでマルシェやイベントの開催を通じ、延べ6500団体を超える生産者（地域）の皆様とのネットワークや交流を築いていますが、このほど、同ターミナルの開業を記念に丸の内シェフズクラブメンバーの脇屋友詞シェフ（Wakiyaグループ オーナーシェフ）が地域の特産品や食材を使用したメニューを開発。三菱地所の社員向けカフェテリア「SPARKLE」（東京都千代田区大手町）では、2019年3月に5日間限定で約250食を先行販売しました。

メニュー開発にあたり、脇屋友詞シェフは地域独自の食材や食文化の魅力に触れるため、宮古諸島の実産者・メーカーを直接訪問。出荷できない規格外のマンゴーにスポットを当て加工品を作っている宮古島マンゴー専門工房ティダファクトリと出会い、口に広がる南国の香りと甘みを生かした「宮古のマンゴーサンド」を開発。また、友利かつお工場より、伊良部島の伝統製法「手火山式」で焙乾する特産品のなまり節にオリジナルXO醤をマリアージュさせ「宮古のたまごサンド」の2種のサンドイッチを開発しました。



本企画で脇屋シェフが開発したサンドイッチ2種



友利かつお工場を訪問

また、メニュー開発の様子のほか、宮古諸島の豊かな食材・食文化について、同プロジェクトが発行する季刊誌『丸のなか』※³の特集記事として4ページにわたり紹介。これらは、丸ビル・新丸ビル等の商業ビルや大手町・丸の内・有楽町エリアのオフィスビルなどを中心に約65か所を拠点に配布。そのほか、宮古諸島へ訪問した際に撮影した動画もエリアモニターにて配信され、食育丸の内のホームページ内でも紹介するなど、社内外へのPRにも力を入れています。2019年6月には「みやこ下地島空港ターミナル」内のカフェ「Grab&Go」でも同じく期間限定で同メニューの販売を予定しており、観光客には特産品の紹介として、また地元の方には慣れ親しんだ食材の新しい調理法の提案として、広く認知拡大を図ってまいります。

下地島エアポートマネジメントでは、今後も地元の特産品などの情報を発信する機会を広げ、空港ターミナル機能にとどまらない地域活性への貢献を目指します。



宮古島マンゴー専門工房ティダファクトリを訪問



宮古島マンゴー専門工房ティダファクトリの看板商品のネクター

※1「食育丸の内」とは <https://shokumaru.jp/>

丸の内再開発が進む 2008 年に“今後の街はどうあるべきなのか？”とを考えをめぐらせ、三菱地所がスタートしたプロジェクト。在勤者数がおおよそ 28 万人にのぼり、日本の GDP の約 3 割を稼ぎ出しているともいわれる丸の内です。食を通して元気になっていくことが日本全体の活気につながるとの想いから、「食を通じて、心身ともに健康になれる社会を目指す」という目標を掲げてはじめて大人のための食育活動。

※2「丸の内シェフズクラブ」とは <https://shokumaru.jp/chefsclub/>

三菱地所のコーディネートで 2009 年に発足。丸の内エリアに店舗を構えるレストランのシェフたちを中心に食に関する意識・技術の向上、生産者・消費者・シェフをつなぐ場の提供など、食に関するあらゆることに取り組む。“食”に関する様々な舞台で幅広く活躍されている服部幸應氏を会長に、様々なジャンルの 26 名のシェフらが参加。

※3「季刊誌 丸のなか」とは <https://shokumaru.jp/category/marunonaka/>

「食べたものがあなたの身体と思考をかたちづくる」をコンセプトに、「食育丸の内」プロジェクトより発行されるフリーペーパー。ビジネスパーソンに向け、食、身体、働き方、生き方について考えるキッカケづくりをテーマに編集されています。

■下地島エアポートマネジメント株式会社の概要

商 号：下地島エアポートマネジメント株式会社
(英文名称：Shimajiri Airport Management Co., Ltd.)
本店所在地：沖縄県宮古島市伊良部字佐和田 1727 番地
事業目的：空港ビルの管理運営、飲食物・物品の販売 等
資本金：3 億円
株 主：三菱地所株式会社、株式会社國場組、双日株式会社
代 表 者：代表取締役社長 伴野 賢太郎

■「みやこ下地島空港ターミナル」施設概要

開 業 日：2019 年 3 月 30 日
所 在 地：沖縄県宮古島市伊良部字佐和田 1727
敷地面積：32,586 m²
延床面積：12,027 m²
規模・構造：RC 造 一部鉄骨造及び木造 (CLT)
地下 1 階地上 2 階
(旅客エリアは地上 1 階のみ)
施 工 者：株式会社國場組・株式会社大米建設共同事業体
CLT 工事 山佐木材株式会社
設 計：株式会社日建設計
運 営：下地島エアポートマネジメント株式会社
主要施設：チェックインカウンター数 12 箇所、搭乗ゲート 3 箇所、
到着ロビー 国際線・国内線各 1 箇所、飲食店 2 店舗、物販店 3 店舗 (免税店含む)、
レンタカー受付カウンター、レンタカー受け渡し場・洗車場、ATM

<本件に関するお問い合わせ先>

下地島エアポートマネジメント株式会社 企画部 TEL 0980-78-6365
三菱地所株式会社 広報部 TEL 03-3287-5200